



# 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月6日

上場会社名 株式会社 な と り  
コード番号 2922

上場取引所 東  
URL <http://www.natori.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役会長兼社長（氏名）名取 三 郎  
問合せ先責任者（役職名）経理部長兼経営企画部長（氏名）安宅 茂

TEL (03)5390-8111

四半期報告書提出予定日 平成27年11月9日

配当支払開始予定日 平成27年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無

四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

## 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	19,603	7.5	1,187	34.4	1,168	34.3	749	40.2
27年3月期第2四半期	18,235	5.7	883	13.2	870	8.7	534	11.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 807百万円 (41.7%) 27年3月期第2四半期 570百万円 (△1.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	59.58	—
27年3月期第2四半期	41.65	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	29,551	17,049	57.7
27年3月期	29,441	16,348	55.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 17,049百万円 27年3月期 16,348百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.50	16.50
28年3月期	—	8.50			
28年3月期(予想)			—	8.50	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・無

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	39,200	2.6	1,890	0.1	1,870	2.0	1,170	5.3	92.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無  
新規 一社 ( ) 除外 一社 ( )

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無  
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無  
④ 修正再表示 : 有・無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	15,032,209株	27年3月期	15,032,209株
28年3月期2Q	2,449,274株	27年3月期	2,449,274株
28年3月期2Q	12,582,935株	27年3月期2Q	12,834,620株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点においては、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
【四半期連結損益計算書】	8
【四半期連結包括利益計算書】	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
5. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間における国内経済は、企業収益や雇用情勢の改善がみられ、緩やかな回復基調にありました。一方で、中国経済の減速懸念をはじめとした海外景気に対する不安等、国内経済の下振れリスクは依然として残っております。

食品業界では、お客様の嗜好の多様化により多くの新製品が投入されていますが、商品のライフサイクルが短くなり、各企業ともその対応に追われています。おつまみ市場も例外ではなく、さらにポータレス化が進んでおり、厳しい環境にあります。また、円安の影響もあり、原材料全般において依然として高止まりの状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、春夏新製品の市場定着と秋冬新製品の導入を積極的に進めました。また、各エリアの嗜好に合った製品の重点投入や販売促進等に取組みました。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の業績は、売上高 196 億 3 百万円（前年同四半期比 7.5%増）、営業利益 11 億 87 百万円（同 34.4%増）、経常利益 11 億 68 百万円（同 34.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益 7 億 49 百万円（同 40.2%増）となりました。

セグメント別および製品群別の売上の状況は、下記の通りであります。

期 別 区 分		前第 2 四半期 〔自平成26年4月1日 至平成26年9月30日〕		当第 2 四半期 〔自平成27年4月1日 至平成27年9月30日〕		差引増減額・率	
		金 額	構成比	金 額	構成比	増減額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
食品製造販売事業	水産加工製品	8,170	44.8	8,533	43.5	363	4.4
	畜肉加工製品	3,048	16.7	3,387	17.3	339	11.1
	酪農加工製品	3,118	17.1	3,688	18.8	570	18.3
	農産加工製品	536	3.0	528	2.7	△7	△1.4
	素材菓子製品	997	5.5	1,047	5.3	49	5.0
	チルド製品	406	2.2	341	1.8	△64	△15.9
	その他製品	1,808	9.9	1,925	9.8	116	6.5
	計	18,085	99.2	19,452	99.2	1,367	7.6
不動産賃貸事業計		150	0.8	150	0.8	0	0.2
売上高合計		18,235	100.0	19,603	100.0	1,367	7.5

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(食品製造販売事業)

売上高を製品群別に分類しますと、水産加工製品は、巾着タイプのチーズかまぼこが好調に推移したことで、食品添加物は使用せず、いかの美味しさを大切に天然素材だけで仕上げた「技の逸品」シリーズや、いかの旨みをアップした「うまいか」などが売上を伸ばし増収となりました。畜肉加工製品は、新製品の「THEおつまみポーク」などのジャーキー製品や、「一度は食べていただきたい おいしいサラミ」などのドライソーセージ製品が売上増加に貢献したことで大幅増収となりました。酪農加工製品は、「一度は食べていただきたい 燻製チーズ」の売上が引続き好調に推移し、3種のチーズ鱈の味わいを楽しめる新製品の「チーズ鱈セクション」や、期間限定の新製品の「チーズ鱈 えだ豆」が売上を牽引し、大幅増収となりました。農産加工製品は、微減収となりました。素材菓子製品は、「黒まめおやつ」や、山田養蜂場のはちみつを使用した新製品の「やわらかほし梅 はちみつ味」などが好調に推移し増収となりました。チルド製品は新製品の「贅沢なチーズ鱈 ユニーククリーム味」などが売上を伸ばしましたが、減収となりました。その他製品は、「おつまみセクション」や、定番おつまみの中から人気の4種を詰め合わせた新製品「おひとり様で楽しめる おつまみセット」などのアソート製品が売上を伸ばし増収となりました。

以上の結果、食品製造販売事業の売上高は 194 億 52 百万円（同 7.6%増）となりました。

利益面では、原材料高騰の影響を受けて原材料コストは上昇しましたが、売上増加や、生産性の向上に努めたこと等により、売上総利益は 62 億 33 百万円 (同 8.3%増) となりました。

販売費及び一般管理費は、業務の無駄とりなどあるべきコスト構成を追求するコストコントロールに継続的に努めたこと等により、51 億 36 百万円 (同 3.6%増) となりました。

この結果、営業利益は 10 億 96 百万円 (同 37.6%増) となりました。

(不動産賃貸事業)

売上高は 1 億 50 百万円 (同 0.2%増)、営業利益は 90 百万円 (同 4.9%増) となりました。

		前第 2 四半期 〔自平成26年4月1日 至平成26年9月30日〕		当第 2 四半期 〔自平成27年4月1日 至平成27年9月30日〕		差引増減額・率	
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
連 結	売上高	18,235	100.0	19,603	100.0	1,367	7.5
	売上総利益	5,842	32.0	6,323	32.3	481	8.2
	販管費	4,959	27.2	5,136	26.2	177	3.6
	営業利益	883	4.8	1,187	6.1	303	34.4
	経常利益	870	4.8	1,168	6.0	298	34.3
	親会社株主に帰属する四半期純利益	534	2.9	749	3.8	215	40.2

(2) 財政状態に関する説明

当第 2 四半期連結会計期間末の総資産は 295 億 51 百万円 (前連結会計年度末比 1 億 9 百万円増) となりました。

資産の部では、建物及び構築物、商品及び製品などが減少しておりますが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、仕掛金などの増加により総資産が増加いたしました。

負債の部では、支払手形及び買掛金、賞与引当金などが増加しておりますが、未払法人税等、短期借入金などの減少により負債合計は 125 億 1 百万円 (同 5 億 91 百万円減)、純資産の部では利益剰余金の増加等により純資産合計は 170 億 49 百万円 (同 7 億 1 百万円増) となりました。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末比 2.2 ポイント増の 57.7%となっております。

当第 2 四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、31 億 33 百万円 (前連結会計年度末比 2 億 37 百万円増) となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10 億 69 百万円の収入 (前年同四半期は 8 億 19 百万円の収入) となりました。主に、税金等調整前四半期純利益が 11 億 72 百万円、減価償却費が 4 億 46 百万円あった一方で、法人税等の支払いによる支出が 4 億 74 百万円あったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1 億 7 百万円の支出 (前年同四半期は 1 億 53 百万円の支出) となりました。主に、工場における生産設備の導入等、有形固定資産の取得による支出が 77 百万円あったこと等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、7 億 23 百万円の支出 (前年同四半期は 3 億 12 百万円の支出) となりました。主に、短期借入金の減少が 3 億 94 百万円あったこと等によるものです。

## キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成 26 年 3 月期 第 2 四半期	平成 27 年 3 月期 第 2 四半期	平成 28 年 3 月期 第 2 四半期
自己資本比率 (%)	59.0	57.4	57.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	47.0	52.1	62.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	514.1	559.1	401.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	87.9	91.4	105.8

(注)自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しています。

※「－」表示は、値がマイナスであることを表しています。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の通期業績予想につきましては、原材料価格及び為替動向など不透明な要因も多く、平成 27 年 5 月 8 日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第 2 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第 21 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第 22 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第 7 号 平成 25 年 9 月 13 日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第 1 四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第 1 四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第 2 四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第 2 四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第 58-2 項(4)、連結会計基準第 44-5 項(4)及び事業分離等会計基準第 57-4 項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第 1 四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,208,688	3,446,468
受取手形及び売掛金	6,088,992	6,175,361
商品及び製品	905,718	792,507
仕掛品	555,368	632,472
原材料及び貯蔵品	2,698,968	2,667,095
その他	345,501	296,288
貸倒引当金	△1,350	△1,348
流動資産合計	13,801,888	14,008,846
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,554,307	6,388,759
土地	5,349,089	5,350,856
その他（純額）	1,986,189	1,987,870
有形固定資産合計	13,889,586	13,727,486
無形固定資産	120,207	131,372
投資その他の資産	※1 1,630,117	※1 1,684,086
固定資産合計	15,639,911	15,542,944
資産合計	29,441,800	29,551,790



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,729,629	3,938,005
短期借入金	3,289,000	2,895,000
1年内返済予定の長期借入金	40,810	10,370
未払法人税等	418,358	354,904
賞与引当金	322,416	487,964
役員賞与引当金	31,000	15,500
その他	2,773,387	2,296,507
流動負債合計	10,604,600	9,998,252
固定負債		
役員退職慰労引当金	590,402	609,652
退職給付に係る負債	667,032	679,089
資産除去債務	4,918	4,918
その他	1,225,886	1,209,893
固定負債合計	2,488,240	2,503,553
負債合計	13,092,840	12,501,805
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,125	1,975,125
資本剰余金	2,290,923	2,290,923
利益剰余金	13,889,136	14,531,856
自己株式	△2,095,739	△2,095,739
株主資本合計	16,059,445	16,702,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	280,994	325,474
為替換算調整勘定	124,761	130,721
退職給付に係る調整累計額	△116,241	△108,377
その他の包括利益累計額合計	289,514	347,819
純資産合計	16,348,959	17,049,985
負債純資産合計	29,441,800	29,551,790

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【四半期連結損益計算書】

第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
売上高	18,235,608	19,603,318
売上原価	12,392,700	13,279,329
売上総利益	5,842,907	6,323,989
販売費及び一般管理費	※1 4,959,421	※1 5,136,919
営業利益	883,485	1,187,069
営業外収益		
受取配当金	10,290	11,566
受取賃貸料	13,285	12,982
その他	19,281	19,911
営業外収益合計	42,857	44,461
営業外費用		
支払利息	9,071	10,239
賃貸費用	19,206	17,537
持分法による投資損失	27,712	34,662
その他	8	147
営業外費用合計	55,997	62,586
経常利益	870,345	1,168,944
特別利益		
固定資産売却益	-	1,768
投資有価証券売却益	9	2,077
特別利益合計	9	3,846
特別損失		
固定資産除却損	-	115
特別損失合計	-	115
税金等調整前四半期純利益	870,355	1,172,675
法人税等	335,742	423,000
四半期純利益	534,613	749,675
親会社株主に帰属する四半期純利益	534,613	749,675

【四半期連結包括利益計算書】  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
四半期純利益	534,613	749,675
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52,283	44,480
退職給付に係る調整額	4,563	7,864
持分法適用会社に対する持分相当額	△21,238	5,960
その他の包括利益合計	35,608	58,305
四半期包括利益	570,221	807,980
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	570,221	807,980
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	870,355	1,172,675
減価償却費	439,627	446,497
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△176	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	166,581	165,548
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△14,500	△15,500
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,375	19,250
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	10,718	23,673
受取利息及び受取配当金	△10,335	△11,618
支払利息	9,071	10,239
持分法による投資損益 (△は益)	27,712	34,662
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9	△2,077
固定資産売却損益 (△は益)	-	△1,768
固定資産除却損	-	115
売上債権の増減額 (△は増加)	273,983	△86,368
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△460,943	67,979
仕入債務の増減額 (△は減少)	75,636	247,217
未払消費税等の増減額 (△は減少)	168,564	△155,036
その他	△325,881	△373,268
小計	1,245,778	1,542,219
利息及び配当金の受取額	10,335	11,618
利息の支払額	△8,968	△10,104
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△427,167	△474,701
営業活動によるキャッシュ・フロー	819,977	1,069,032
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△134,660	△77,368
投資有価証券の取得による支出	△15,971	△16,139
投資有価証券の売却による収入	42	3,133
その他	△3,037	△17,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	△153,627	△107,847
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	△394,000
長期借入金の返済による支出	△43,820	△30,440
自己株式の取得による支出	△22	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△165,481	△191,940
配当金の支払額	△102,691	△107,024
財務活動によるキャッシュ・フロー	△312,015	△723,405
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	354,334	237,779
現金及び現金同等物の期首残高	2,118,382	2,895,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 2,472,716	※1 3,133,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	18,085,290	150,318	18,235,608	—	18,235,608
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,085,290	150,318	18,235,608	—	18,235,608
セグメント利益	797,161	86,324	883,485	—	883,485

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	食品製造販売事業	不動産賃貸事業			
売上高					
外部顧客への売上高	19,452,666	150,652	19,603,318	—	19,603,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,452,666	150,652	19,603,318	—	19,603,318
セグメント利益	1,096,498	90,571	1,187,069	—	1,187,069

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成 27 年 3 月 31 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成 27 年 9 月 30 日)
投資その他の資産	15,799 千円	15,799 千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日)
販売促進費	1,376,129 千円	1,464,533 千円
給料及び手当	1,230,846 千円	1,229,487 千円
賞与引当金繰入額	253,586 千円	263,652 千円
役員賞与引当金繰入額	14,500 千円	15,500 千円
退職給付費用	37,049 千円	40,753 千円
役員退職慰労引当金繰入額	15,375 千円	19,250 千円
貸倒引当金繰入額	△19 千円	△1 千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日)
現金及び預金勘定	2,785,763 千円	3,446,468 千円
預入期間が 3 カ月を超える定期預金	△313,047 千円	△313,048 千円
現金及び現金同等物	2,472,716 千円	3,133,420 千円